

たんちよう

No. 129
2月号

HSK

編集／釧路地方腎友会



サケを捕るクマ

【目次】

- ・シャント「はばたける腎友会になるために」会長 竹内 昇 ——— 1
- ・新年のご挨拶 釧路地方腎友会顧問 ——— 2
- ・よい知らせ・2つ ——— これまでの取り組みの成果 ——— 3
- ・平成5年・年賀状印刷幹旋結果報告 ——— 4
- ・JPC・全腎協国会請願署名、募金集約 ——— 5
- ・新年会大盛況 ——— 6
- ・ひとり暮らしの損得 ——— ○○病院 — 匿名希望 ——— 7
- ・全腎協から地震見舞い状 ——— 8
- ・クロスワードパズル ——— 9
- ・会員の動向 ——— 10

シヤント

はばたける腎友会

になるために

会長 竹内 昇

一九九三年があけた。あと七年で二十世紀がやってくる。別に二十世紀が待ち遠しいわけではない。あえて言えば、私の定年がその頃にやってくるというだけのことである。患者暦が長くなると、月日の経つのが気にならなくなるのかもしれない。

さて、全腎協では、早ければ今年「法人化」が実現するかもしれない。法人化の是非にはそれぞれの考え方があって思う。しかし、全腎協は無論法人化を推進する立場であり、道腎協や釧路地方腎友会など各地方の会員の理解を求めている。

法人化の取り組みは、既に一九八三年から始まっている。

そして、委員会を組織して検討してきている。経過を知らせてきている。

賛成・反対ともにほぼ同程度の重要性がある中で、私は法人化することによって、

「社会的信頼度がずっと高まる」という趣旨に賛成であり、このことが法人化の効果として、全腎協発展と、会員の利益につながる大きな収穫になると確信するのである。私は会長になって、より実感したことであるが、私たち会員の主たる要求の大半は市町村や道及び厚生省や政府との折衝なくして実現しないものばかりなのである。

そして、これらの公共機関及び官吏や議員の感觸は、何よりも会員の数が一番ものをいい、次に法人格と言う社会的信用度が要求実現の大きな原動力になるということである。このことは、単に政治家に対する信頼性にとどまらず、世間一般の信頼性や理解を得なければならぬ私たち患者の宿命といっても過言ではない。



いわば、「社会的信頼度」こそが、私たち透析患者の命の綱といえるのである。バブルがはじけ、不況風がいつそう強く

なった。昨年は綿貫自民党幹事長の我々に対する暴言に、忘れられない不快感に襲われて間もないが、単なる不快感ですむことを祈らずにはいられない。しかし、厚生省の考え方を代弁したとまではいいたくないが、不況になればなるほどわれわれ患者への風当たりが強くなることだけは確かである。よほど心してかからねば、不況・高齢化社会などをお題目に、治療・経済環境ともに圧迫されかねない。

既に圧迫政策は始まっており、「せんじん」「どうじん」「たんちよう」でながれている通りである。いつもいうことであるが、じわじわ押し寄せてくる治療費の削減政策に歯止めをかけることができる唯一の手立ては、「団結」しかない。

腎友会の課題は、治療費の圧迫に歯止めをかけることのほかに、介護を必要とする患者の対策や、患者の増加による透析施設の不足など、当面する問題が山づみしている。これらに対処するためにも、非会員は是非会員になってほしい。

又、幹事や役員なども、いろいろな人がやることによって腎友会の必要性がわかるであろうし、活動も活発になる。

何とかしてすべての患者が腎友会に結集し、役員として活躍してくれる人も増え公共機関への要求が通るような腎友会になってほしいと切望してやまないのである。

新年の

ご挨拶

釧路地方腎友会顧問

北海道議会議員 伊藤 武

釧路地方腎友会の新年会にお集りの皆さんお元気で新年をお迎えのこととお喜び申し上げます。

昨年は、日本の政治も経済も混迷を極め、あまりよい一年ではなかったように思います。明けた平成五年は皇太子殿下のご婚約という明るいニュースのスタートとなりましたが、釧路では大地震に見舞われ大災害となりました。皆さんの自宅はいかがでしたでしょうか。

心よりお見舞申し上げます。

さて、昨年は中標津病院での透析が可能になるよう要請を受けましたが、町長は本年五月からでも実施できるようなしたいとのことでありませぬ。

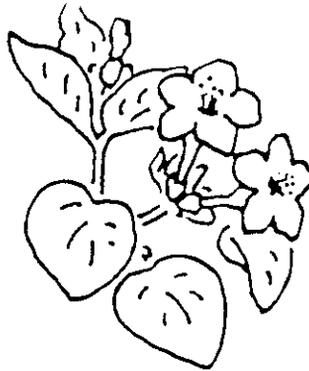
そのためには医師・看護婦などの確保と諸条件を整備する必要がありますので、道としても協力を考えているようであり

ます。私も引き続き努力する決意であります。

終わりに本年も皆さんご健勝にて頑張っていたきたいことを申し上げ新年のご挨拶といたします。

平成五年一月三十一日

(釧路地方腎友会新年会にいただいたメッセージを掲載させていただきました。)



釧路地方腎友会顧問

釧路市議会議員 高橋 宏 政

新年を迎え皆様におかれましてはご健勝にてお過ごしのことと存じますが、一月十五日午後八時六分、震度六の烈震に襲われ、さまざまな被害で何かと大変だったとご推察申し上げます。心よりお見舞申し上げます。

釧路市も公共部門で百億を超える被害があり、特に魚揚げ場、西港等の復旧に

は多額な費用と半年にも及ぶ工事期間が必要といわれております。

ありがたいことに、政府はこの被害に重大な関心を寄せ、特別交付税をもって災害復旧するようにと応援する姿勢をとっております。

ただ、地面の凍結で地下の被害の全容がつかめず、春先の雪解けで、どの程度の被害が上乘せされるか、大関心事であります。

いずれにしても完全復旧に向けて頑張っております。

さて、市内在任の腎友会の皆さんの通院交通費は患者の増加と交通費のアップによって、この制度のスタート時の半額支給を大幅に下回り、強い増額要求が寄せられておりましたが、昨年の予算編成時から市当局に数回に渡って要求を重ねてまいりましたが、ようやく明るい展望がひらけ、実現可能な状況になってまいりました。

社会福祉行政の充実にむけて今後とも皆様の側に立ち、皆様の切実な声を反映させてまいります。どうか、健康管理を万全に行い、いつまでも元気で活躍されますよう心から祈念申し上げます。近況報告いたします。

陳情行動の成果・二つ

中標津病院で

ついに透析開始

平成5年四月から

前号の「たんちょう」でもお知らせしておりました中標津町立病院に透析施設をといた問題ですが、地元患者さんの願いが届いて、平成5年四月から開始されることになりました。

既に、透析機械を買う予算も計上され、透析室も整備されているそうです。

お医者さんや看護婦さんの手配も順調にいらっていると聞いています。

後は、テクニシャンが入ってくれば申し分ないということです。

中標津・別海・羅臼・標津から釧路まで通院している患者さんは二十六名ほどおられ、そのうち十九名の方が中標津で透析を受けたいと考えています。(平成四年十月の時点で)

今まで、二時間以上もかかって通院していた人たちが、一時間ほどで通院することができるようになるのです。本当によかったと思います。

中標津町立病院に通うことを希望していた人たちは、中標津町立病院から希望調査が行くことになると思いますので、心づもりをしておいてください。



釧路市通院交通費

増額要求とおる

昨年の総会の時から、会員の要望であった釧路市通院交通費増額の問題ですが、昨年末から鰐淵市長に陳情をしてみました。その結果、一月二十一日六園荘において市長ヒアリングを実施。希望通りの予算(実費の二分の一になるまで増額)が認められました。

このときは、顧問の高橋市議さんも同席していただき、竹内昇会長、橋本ともに心強く感じました。

このことにより新年度の釧路市内通院交通費支給は、実費の五割を確保できることになりました。

釧路地震で財政的にも苦しい中、増額してくださった鰐淵市長さんに感謝せずにはいられません。

心から感謝したいと思います。

平成5年賀状印刷幹旋結果報告

病院名	件数	はがき代	印刷代	合計	客ミス	腎友会利益
釧路市立	263	812,507	772,030	1584,537	5,800	148,606
林田クリ	395	1258,235	1246,408	2504,643	15,000	234,282
日赤病院	10	27,630	28,780	56,410	0	5,756
協立病院	291	972,440	949,264	1921,704	/	189,852
久島クリ	381	1266,975	1192,220	2459,195	5,800	232,644
厚岸町立	124	412,460	354,046	766,506	10,920	59,890
合計	1,464	4750,247	5425,908	9292,995	37,520	871,030

※ 藤プリントに印刷代の8割とはがき代を支払った残りが、釧路地方腎友会の純利益です。

純利益のうち、諸経費○各会員活動費180,750円、ソーイングセット代97,706円

○領収書10冊3,604円、運送代4,200円

○各病院担当者手当て(総額4万円)

を引きさした額 5 4 4 , 7 7 〇 円を特別会計に繰り入れました。

J P C ・ 全腎協国会請願署名結果

病院名	全腎協署名	募金	J P C 署名	募金
市立 病院	7 4 枚	26300円	2 8 枚	0円
鉦 泌 クリニ	3 3 枚	2700円	1 4 枚	1700円
林田 クリニ	4 7 枚	3000円	2 1 枚	0円
協立 病院	3 4 枚	13000円	1 0 枚	0円
日赤 病院	9 枚	0	5 枚	0円
厚岸 病院	2 5 枚	7000円	厚岸養病連に提出	
健康まつり	5 枚	2000円	1枚	1000円
合 計	2 2 7 枚	54000円	7 9 枚	2700円

○皆様のご協力により以上のような結果となりました。ご協力ありがとうございました。回収率は50%程度でした。

募金のうち、鉦路地方腎友会分(35%)18900円は一般会計へ繰り入れました。残りの37800円は道腎協へ送金しました。

菅原タツ子さんからご寄付

協立病院の新会員「菅原タツ子」さんから患者会活動に役立ててくださいとご寄付をいただきました。道腎協と鉦路地方腎友会の活動に役立ててくださいとのことで、次のように振り分けいたしました。

道腎協 10000円

鉦路地方腎友会 20000円 会の活動のため有効につかわせていただきます。ありがとうございました。

新年会 大盛況

一月三十一日(日)、午前十一時から
釧路福祉会館三階、大ホールにおいて釧
路地方腎友会恒例新年会が開催されまし
た。参加者は総勢五十名。その日のお客
様は、林田クリニック院長林田紀和先生、
釧路泌尿器科クリニック久島貞一先生、
市立病院からは小林先生、榊原先生と、
たくさんおいでくださいました。

また、顧問の高橋宏政市議員さん
も駆けつけてくださり、交通費増額実現
の報告をしてくださいました。

始めに、体調をくずして参加できなかつ
た竹内昇会長にかわって掛札副会長が挨拶
をいたしました。

その後、先生がたにひとことずつご挨拶
をいただきました。また、顧問の伊藤
武一道議会議員さんからのメッセージを
館幹事が紹介いたしました。

そうして、金井副会長の乾杯で祝宴に
入りました。

料理のほうは、刺身、タラバ蟹、ロー
ストビーフ、エビチリソース、お寿司、

シウマイ、ビール、ジュース、等々豊
富なメニューで参加者全員大満足。

ある程度お腹がいっぱいになったとこ
ろで大久保副会長がゲーム・クイズを始
めました。

つ日は、皆さんご存じのビンゴゲー
ム。すぐにできた人、なかなかできない
人それぞれ大きな声で楽しそうに参加し
ていました。次には、クイズ。キリンの
血圧は高いか低いのか、体温計が四十二度
までしかないのはどうしてか、などなど
頭をひねる問題がいっぱいでした。

最後には、掛札副会長が『競馬ゲーム』
をしてくださいました。テーブルから代表を
出して、カードを引いて出た数だけ進め
るというゲーム。久島先生や佐々木先生
が参加し、なかなか進まないで会員に
ひやかされっぱなしで、本場に盛り上が
りました。時間のたつのも忘れるほど、
楽しいひとときを過ごすことができました。
こうして、三時ころに終了いたしま
した。

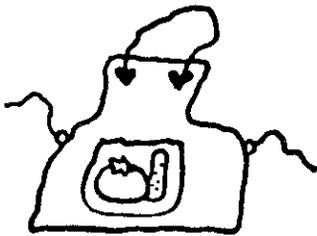
婦りには、今年も田村和幸さん(釧路
和商市場「やまげん田村」)が提供して
くださったエビとカレイをおみやげにも
らい、景品もてにして皆ニコニコ顔で帰っ
ていきました。

新年会に「志(こころざし)」をよせ
ていただいた皆さん本当にありがとうご
ざいました。

また、参加された会員の皆さんご苦労

さまでした。今回の新年会には新しい患
者さんがたくさん参加してくれました。
透析になっても病気に負けず、元気に過
ごしましょう。次の釧路地方腎友会行事
にもぜひ参加してください。

最後に、準備に苦労された幹事の皆さん
ご苦労さまでした。



ひとり暮らしの摺り

〇〇病院 匿名希望

高校を卒業して六年、ひとり暮らしも今年で六年目に入る。六年もの間ひとりで生活してきたわけだから、ひとり暮らしのよい点も悪い点も、そして社会のルールや知恵みたいなものも身をもって味わった。

ひとり暮らしのよいところ、それは、何といっても金と時間が自由であること。もらった給料はすべて自分のものだし、夜の町へ繰り出しても、時間なんか気にしない。眠くなったら寝て、腹が減ったら豪華に食事する。

まして、母親や姉のうるさい小言や注文など聞かなくてすむのがまたうれしい。こういう生き方が自分の望んでいた「若者らしい生活なんだ。」と、深く感銘したものである。

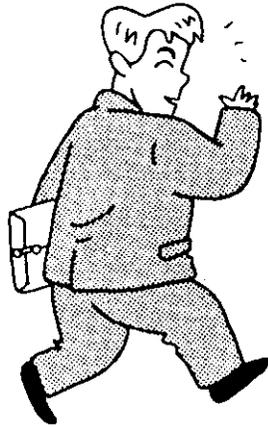
しかし、好きなものを買って、夜遅くまで飲み歩いて、そうそう金が続くわけがない。結局、給料日前には母親や姉のところへうるさい小言を聞きにまいもどるのである。ただひたすら頭を下げて、がまんして……。

親元で暮らしている友達に、「ひとり暮らしは楽しいよなあ。」と、よく言われるが、そんなことはない。

これでも結構きついのである。家賃に電気、ガス、水道代、その他もろもろの出費がかさむので、かえって親元で暮らしている人のほうが自分の自由になる金は多いはずである。

ひとり暮らしをする上で一番重要になってくるのが食費である。給料日から一、二週間は手持ちの金の多さにリッチな気分をぜいたくをする。これがいけない。あとになって祟るのである。

給料日前になると、安くなった弁当を求めて六時過ぎに、某デパートのお総菜コーナーをさまようはめになる。これがまた情けない。



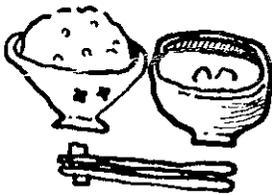
また、最近知ったのだが、某ホカホカ弁当屋は閉店間際に行くと、余ったおかずを一品サービスしてくれるのである。金がない時期だけにこのサービスは身にしみる。しかし、この時期なんといっ

ても助かるのが病院食である。一日一食か二食の中で、この病院食は大きなウエイトを占めている。一日の栄養を病院食で補っているといっても過言ではないだろう。

それ以外の食事に関しても、親や姉の世話になっていることは言うまでもない。このように、当初は夢と希望を持って始めたひとり暮らしだが、現実はその甘くなかったのである。ひとり暮らしをして身についたことといえば、金が底をついたときのやりくり、人間、窮地に追い込まれれば、悟りを開いたような知恵が浮かぶものである。

白慢でいることといえば、コンビニのインスタント食品や弁当類を全て制覇したこと、安くてうまい食堂を数多く見つけ出したことぐらいである。この先、いつまでこのような情けないひとり暮らしが続くのか見当もつかない。もしかしたら一生……。

しかし、一度やり始めるとどんなに苦労してもやめられないのがひとり暮らしなのである。



全腎協から地震見舞い状

さる1月15日の釧路沖地震に際しまして、釧路市や帯広市などで多くの被害が伝えられています。貴会会員の皆さんもまた恐怖の思いをされたことについて全国の会員を代表して心よりお見舞申し上げます。

貴会からのご報告によれば、幸い患者さんへの直接的な被害はなかったとのことで、まずは安心しています。一部の患者さんには、透析中であったことでさぞ緊張の体験をなされたことと拝察いたします。

こうした災害に遭遇したとき、透析療法が単なる延命療法にとどまらず、いかに社会的な条件のもとで維持される治療法であるかを痛感いたします。全腎協としても、災害時対策のいっそうの確立強化の運動に努力する所存です。

会員の皆様にくれぐれもよろしくお伝えくださるようお願い申し上げますとともに、ますますのご健勝ご活躍を祈念しております

全国腎臓病患者連絡協議会

会 長 油井 清治

ご心配いただきありがとうございます。お陰様で、みな元気で生活することが保証されています。今回の地震で何よりもありがたかったのは、各透析病院の非常時に対する対応でした。釧路市内どここの透析病院でも、地震直後から、壊れた機械や、水道管などの修理に昼夜兼行で努力してくださいました。

その結果、次の日の16日には通常の透析が可能になったのでした。

この時、改めて透析病院の先生、スタッフの皆さんに感謝の気持ちでいっぱいになりました。私たち透析患者はもちろん、いろいろな病気で世話になっている患者さんは、医療のありがたさをシミジミと感じたことと思います。本当にありがとうございました。

【会員の動向】

《新患者》

永井 久美子

鉦路市

小山 幸子

標津郡中標津町

請川 ハル

鉦路市末広町

●鉦路泌尿器科クリニック

小野 ミチ

鉦路町

●厚岸町立病院

宇佐美 武信

斎藤 照雄

吉田 シゲ

鶴居村

上田 ヌキ

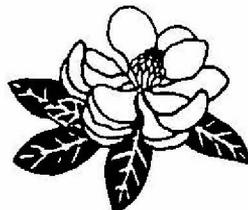
浜中町

《新会員》

永井 久美子 (市立) 平成5年2月より
請川 ハル (市立) 平成4年11月より
小山 幸子 (市立) 平成4年11月より
小野 ミチ (鉦泌) 平成4年11月より
米谷 勝弘 (林田) 平成5年2月より
佐々木 ケイ (林田) 平成5年2月より
山本 マツエ (林田) 平成5年2月より
野田 勉 (林田) 平成5年2月より

【おくやみ】

高橋 栄行 (林田) 平成4年12月
本間 孝司 (鉦路泌) 平成5年1月19日





HSK (たんちよ)

昭和四十八年一月十日 第一種郵便物認可
 平成五年二月十日発行 一回 部員 購読料は公費に充てられています
 発行：北海道立総合教育センター 札幌支所
 編集：河野健及博文